

常に勉強 現場主義

古河市議会議員

いずみ

さとう泉

平成31年春号

さとう泉

議会報告

日頃は暖かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。
皆様のおかげで、29歳の時（平成15年4月）に初当選させていただいてから16年（4期）お世話になりました。
41歳の時に議長に就任し2年2か月間に7つの改革を提案し、実現いたしました。
これまでにどんな結果が残せたのかご報告させていただきます。
これからも古河市発展のため、ご指導ご協力を宜しく願います。



**弱者優先の
政治を！**

プロフィール

- ・昭和48年8月20日生まれ
- ・古河第三小学校、古河第三中学校、総和高等学校、東京科学電子工業専門学校、白鷗大学法学部法律学科卒業
- ・大学卒業後、研究生として福岡政行研究室で政治学を学ぶ
- ・研究生修了後も政治評論家、福岡政行先生に師事
- ・平成15年4月より古河市議会議員（29才の時に初当選）現在4期目
- ・第10代古河市議会議長（41才の時に就任）
- ・文教常任委員長、厚生常任委員長、文教厚生常任委員長 歴任

【現在】

- ・第3地区（旭、下一、下二、下三、住吉町）相談役
- ・コミュニティ団体「サンゴの会」/下三自治会 相談役
- ・茨城県マリッジサポーター、古河婚活支援会 会長
- ・株式会社 東和 代表取締役
- ・一般財団法人 古河市地域振興公社 副理事長
- ・社会福祉法人 古河市社会福祉協議会 理事
- ・古河市動物愛護協議会 相談役



福岡政行先生に学びました

政治評論家で白鷗大学教授、福岡政行先生（TVタックル等テレビ番組でおなじみの）に師事し政治学の勉強を現在も続けております。



さとう泉 事務所

古河市東本町 3-7-9

電話 / ファクシミリ：0280-31-2863

Eメール：info@satoizumi.com

ブログ：http://blogs.yahoo.co.jp/sato_izumi_123

facebook

https://www.facebook.com/izumi.sato.1829



一般質問や要望等で提案が実現しました

結果がでました!!

【一部抜粋】



議場にて質問中

請願の紹介議員になり、すべての請願が全会一致で可決されました。

- ・H29年9月(H29第3回定例会) 教育予算の拡充を求める請願
- ・H30年6月(H30第2回定例会) 古河市サッカー場の改修を求める請願
平成31年度に「古河市サッカー場改修事業」として1億8400万円の予算がつきました。
- ・H30年9月(H30第3回定例会) 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願
- ・H31年3月(H31第1回定例会) 小児救急医療輪番体制の充実を求める請願

子育て支援・教育

日赤病院跡地の利用について(上辺見保育所の移転計画をしてはどうでしょうか?)

H20年12月17日(H20年第4回定例会一般質問)

質問 保育所の充実のため現在のの上辺見保育所を古河赤十字病院跡地に移転してはどうかと考えますが、いかがでしょうか。通園の安全性の確保、またゼロ歳児から3歳児までの低年齢の幼児の受け入れ拡大、定員超過の解消など保育環境の整備が実現されるでしょう。働く女性たちの子育てを援助する有意義な施策と考えます。現在のの上辺見保育所用地はユーセンター総和の駐車場として利用すれば、センター利用者の利便性の向上が図れます。

答弁 (市長) 古河赤十字病院の跡地は4,000坪ございます。そして、今上辺見保育所の敷地は2,358平米ということですから、約700坪ございます。佐藤 泉議員が言われるようなことで、もし古河赤十字病院の跡地へこの保育所を移して、そして今現在のの上辺見保育所の跡を今度は駐車場にすれば、1台当たり7坪とっても100台は優に置けるとということですから、十分ユーセンター総和を利用する方も利用しやすくなると思います。



日赤跡地



上辺見保育所

結果がでました!!

古河赤十字病院跡地を「子育て支援の拠点」として位置づけ、平成31年新上辺見保育所が完成いたしました。

旧上辺見保育所を取り壊すことにより、ユーセンター総和の駐車場が100台以上確保できます。

子育てのまち「古河」を目指して(少子化問題について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)



質問 子供を授かりたいと願う気持ちを少しでも支援し、市でも県事業にプラスした形で何らかの支援体制ができないでしょうか。

答弁 当面は県のこの不妊治療費助成事業の周知を図ってまいりまして、プラスした支援につきましては今後の検討課題というようになことにしたいと思っております。

結果ができました !!

平成27年4月より、特定不妊治療(体外受精及び顕微授精)の治療費の一部助成(上限5万円)をすることになりました。

子育てのまち「古河」を目指して(子育て支援について)

H19年12月13日(H19年第4回定例会一般質問)

質問 専門的知識と経験を有する職員の専門性を生かし、軽度発達障害のあるお子さんへの行政対応の向上に努めていただきたいと考えますがいかがでしょうか。

答弁 理学療法士、作業療法士等々の採用の件でございますが、現場と十分話し合っ、必要であれば採用する方向で検討していきたいと思っております。

結果ができました !!

平成27年4月から児童発達支援センターを設置することになりました。理学療法士、作業療法士、臨床心理士を採用することになり、臨床心理士が市内のすべての保育所、幼稚園等に出向いて子ども達への支援をしていただけます。

★障がいをもった子どもたちへ、手厚い支援の要望

介助員の増員を毎年強く、要望しております!!

結果ができました !!

介助員を増員していただきました!!

★白鷗大学と古河市がスクールサポート事業の協定を結びました

古河市教委と白鷗大教育で協力協定締結
古河市教委と白鷗大教育で協力協定締結
古河市教委は今年度、近隣の大学生が授業の補助や部活動の支援を行うスクールサポーター事業を始め、現在、12人が小中学校計12校で、算数や特別支援学級の授業などで教師を手助けしている。
協定によると、現在、白鷗大から4人が参加しているスクールサポーターについて、大学が学生たちに積極的に参加するように呼びかける。
一方、古河市教委は、全国から入学している学生らが近くの同市で教育実習ができるように便宜を図る。
市は「白鷗大は、教育を志す意欲の高い大学生が多い。市内の全小中学校32校にそれぞれサポーターを置きたい」と期待している。

読売新聞 平成21年10月29日

結果ができました !!

これまでに204名の大学生が子どもたちの学習支援等で、古河市で活躍しております!!

環境(循環型社会)

ごみ減量化について(衣類のリサイクルについて)

H23年12月13日(H23年第4回定例会一般質問)

質問 衣類は燃えるごみとして出されております。ごみとして捨てられている衣類を資源として売却し、新たな財源を生み出すと同時に、燃えるごみの減量化と処分費の抑制を図っていくべきだと考えます。そのために、ごみ収集カレンダーの中に、月1回程度の衣類回収日の新設を提案いたします。

答弁 (環境安全部長)

現在衣類については、可燃ごみとして焼却処理を行っていますが、平成25年度から資源ごみとして分別収集を実施し、リサイクルできるような調整をしていきたいです。



結果ができました !!

平成25年4月から実施されました。
これまで(平成30年度末)に741トンが回収され、衣類の売却益と処理費の削減分で1,630万円の処分費を抑制できました。
循環型社会の形成とごみを財源に!!

コミュニティづくり

市民活動の育成について

H20年6月10日(H20年第2回定例会一般質問)

質問 行政との協働を考えたときに、ボランティアの皆さんの交流の場、情報交換の場として、空きスペースである古河庁舎3階に拠点となる場所(市民活動支援センター)をつくってみたいかができようかと提案してから1年が過ぎました。
設置時期はいつごろになる見通しでしょうか。

答弁 (部長)

今セキュリティーの問題だとか、あと団体等の把握、そういったものがちょっと課題がございまして、今現在内部で協議中でございます。



結果ができました !!

平成21年8月に各地区(古河庁舎三階、コミュニティセンター総和、三和庁舎第三庁舎)に市民活動支援センターが設置され、平成30年度末までの利用人数は1万人を超えました。

センターでの利用内容は、「パソコン」や「印刷機」を使って、地域のイベントや会議などの資料づくりができます。また、資料づくり等を打合せする場所として「談話室」や情報の発信として「掲示板」が設置されております。

まちづくり・観光

古河総合公園の名称について

H26年3月17日(H26年第1回定例会一般質問)

質問 愛称を市民の皆さまから公募してみたいかができようか?

答弁 (市長)

古河総合公園という名前よりも、もっと親しみやすい名称、愛称ということですが、執行部としてもぜひその提案を取り入れて、市民の皆さんに問えたらと思います。



結果ができました !!

合併10周年を記念として愛称を公募することになりました。
私も応募したのは『古河公方公園』に決まりました。

川戸台遺跡について

H26年3月17日(H26年第1回定例会一般質問)

質問 川戸台遺跡は、東日本でも有数の製鉄・鑄造関連遺跡です。今後、観光資源の大きな目玉の一つとなり得ると思います。ぜひ展示施設も含めた史跡整備を進めてもらいたいのですが、それらを実施していくためには、正規の埋蔵文化財専門職員がいないと国及び県から補助が受けられない状況です。今後早急に、市として正規の専門職員を配置していただきたいです。

答弁 (市長)

埋蔵文化財の専門職員、正規職員ということでありますけれども、確かにこの職員がいたならば、補助金その他の面で有利な面もありますし、またこの遺跡につきましてもいろいろな面でプラスになろうと思います。これにつきましては前向きに考えてまいります。



川戸台遺跡

結果がでました !!

平成27年度に、川戸台遺跡を古河市指定史跡として、早急に登録していただけることになりました。

7つの改革 … 議会改革

議会の信頼性や透明性を確保するため、市民に身近で開かれた議会づくりを目指して次の7つの改革を実践してまいりました。

1、議場コンサートの実施

少しでも多くの市民の皆様が議会を身近に感じ、議場に足を運んでいただくために、議場コンサートを開催しました。

これまでに14回開催して、合計444名の市民の皆様をお迎えしました。



古河市議会の議場で13日、大正琴の合奏などによる「議場コンサート」が開かれた。親しみやすい議会を目指し、一昨年の12月議会から一般質問初日に開いており、5回目。昨年11月の市長選のために12月議会は繰年となり、13日から一般質問が始まった。

議場に響く大正琴の音色

古河 一般質問初日にコンサート

議場には大正琴の音色が響いた—古河市議会議場

「琴伝流・大正琴ベルフ・ラウース」のメンバー13人が「大正琴合奏」には「な」などを演奏。大正琴独特の音色と、13人の調和が生み出すやわらかな余韻に、議員や傍聴席を埋めた70人余りの市民らが聴き入った。

「琴伝流・大正琴の講師で、グループを指導する常松利子さんは「緊張したが、全員で思い出に残る演奏ができました」と話した。

(平成29年1月14日 朝日新聞)

2、古河市議会古河未来創造特別委員会の設置

二元代表制である議会が、古河市のまちづくりにおける重要課題について積極的に提言を行う。

- ・日野自動車関連事業について
- ・古河駅東部土地区画整理事業について
- ・新庁舎建設について
- ・その他

これまでに、18回にわたる会議、視察、勉強会を開催。



【平成29年3月17日】

針谷市長へ議会(古河市議会古河未来創造特別委員会)からの要望書を提出。

元文化センター建設予定地に、行政・文化機能が一体となった複合的な公共施設建設等を要望しました。

3、一問一答方式の導入

質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用。

何回でも質問ができるようになりました。

改革③ 一問一答方式の採用 平成28年第4回定例会から採用

【目的】
質問内容に関する論点や争点が明らかで、よりわかりやすくするために採用

	一括質問一括答弁	一問一答方式
質問回数	3回まで	無制限
質問時間	30分まで	30分(ただし、全体で60分)
質問の仕方	3回とも一括質疑	1回目は、一括質疑 2回目以降は、テーマごとに一問一答方式

4、電子採決システムの導入

執行から提出された条例案や予算案に対して、市民から負託を受けた議員一人ひとりが責任や態度を明確にするため。

議案第100号

1番 阿久津 佳子	12番 渡辺 松男	23番 小森 高雄
2番 秋山 敬明	13番 鈴木 隆	24番 山崎 暁
3番 稲葉 英大	14番 岡部 増彦	
4番 鹿見 久美子	15番 長瀬 香一	
5番 大島 謙夫	16番 赤坂 賢男	
6番 秋篠 繁	17番 増田 信	
7番 高橋 秀彰	18番 倉持 健一	
8番 佐藤 裕	19番 渡邊 忠夫	投票総数 23
9番 生沼 繁	20番 西本 博文	賛成 23
議長 10番 佐藤 洋	21番 黒川 輝男	反対 0
11番 湯合 康之	22番 並木 寛	棄権 0

議案第100号

投票総数	23
賛成	23
反対	0

5、議場のライブ配信

<http://smart.discussvision.net/smart/tenant/koga/WebView/>

本会議、常任委員会、予算・決算特別委員会のライブ配信を実施しています。

録画配信は、パソコン・携帯端末から、24時間いつでも、だれでも、どこでもオンデマンドで視聴することができます。

(古河市議会のホームページからアクセスできます。)

古河市議会



6、議会報告会の開催

議会活性化と市民に身近で開かれた議会づくりのため、5月20日(土)に議会報告会を開催。多くの市民の皆様に参加していただきました。

○ 準備組織

議会報告会作業チーム会議を組織。

(議会運営委員会及び3常任委員会代表の14名で構成)

○ 報告会の企画、資料作成、会場準備を実施

まちの課題、意見交換

古河市議会 初の報告会

古河市議会(佐藤泉議長)は20日、同市下野の市中央公民館で、市民を対象にした報告会を初めて開催した。来場した約100人に、議会活動を紹介したほか、3月定例会の質疑応答や市政に関する意見交換を行った。市民に身近な議会を目指す姿勢を示した。

同市議会は2015年に市議会基本条例を制定し、同年5月に施行。これまでに七つの議会改革として、市への政策提言を行う未来創造委員会の設置、インターネットを利用した議会の



(平成29年5月30日 茨城新聞)

7、政務活動費をホームページにて公表

■ 政務活動費:議員一人あたり 年間支給額 30万円

■ 平成28年度分から古河市議会ホームページに収支報告書を公開。

※収支報告書には、領収書の添付を義務化。

古河市議会 透明化進む

政活費使途をHPに 一般質問も常時公開

古河市議会は、議員に支給される政務活動費の透明化を図るため、全議員を対象に今年度分からすべての使途をホームページ(HP)で公開する。また、12月議会からは、議員の一般質問の様子も市HP上で常時公開する。様々な改革への取り組みを通じ、開かれた議会づくりを進める。

議会事務局によると、昨年、議員提案により議会基本条例を制定・施行し、条例に基づいて議会内で改革の協議を重ねてきた。

古河市議会の議員数は24人。政策立案に向けた調査研究などの活動のために支給される政務活動費は、同市の場合で議員1人当たり年間30万円。政務活動費の使途を透明化するため、今年度分から全議員を対象に収支報告書を添えて公開することを決めた。佐藤泉議

長によると、議会事務局ですべての領収証の閲覧もできるようにするという。

同市議会は、議員の一般質問は総括質疑形式をとっている。この方式では、議員が一括して質問し、市側がまとめて答弁する。質疑・応答とも総括的となるため、論点や争点が不明確になるとされている。議会基本条例に基づいて、12月議会からは、議員が一般質問の際に一問一答形式を選択できることにした。

議員は市側の答弁に納得できない場合、与えられた質問時間内で何度でも質疑ができることから、市側の答弁の正確度も増し、論点も明確になる。質問の趣旨が不明瞭の場合などは、市長から議員への反問も可能になるという。

また、同市議会は昨年12月議会から会期中に市内在住・在勤の音楽家による「議場コンサート」を開いている。佐藤議長は「市政の活性化にとって議会活動の透明化は欠かせない。市民に議会への関心を深めてもらうため、可能な限り改革を進めたい」と話している。(吉江宣幸)

(平成28年9月2日 朝日新聞)



殺処分ゼロをめざして古河市動物愛護協議会を立ち上げました。



古河史楽会の会員として子ども達に古河の歴史を知ってもらい、郷土愛を育てる活動をしています。

古河婚活支援会(会長 佐藤泉)主催のお見合いパーティ(愛直便)を開催

少子化対策の一環として行っているボランティア活動報告をさせていただきます。茨城県知事から、**マリッジサポーター**(結婚相談支援員)として委嘱されてから11年が経過いたしました。これまでに54回のお見合いパーティーを開催いたしました。合計1,775名の方が参加、その中から329組のカップルが誕生し、33組がご結婚され、29人のお子様が誕生しております。



MARRIAGE SUPPORTER PRESENTS
婚活パーティーで素敵な出会いをあなたに+

第55回 愛直便
2019.5.23(木) PM7:30~受付

もしKOGA れる想いから
愛し合うまで

「愛直便」とは茨城県知事より委嘱を受け、活動30年の実績がある古河のボランティア団体です。2ヶ月に一度、定例のデートナイトを企画し、定例の婚活パーティーを開催し、一人ひとりの幸せを祈りながら、理想のお相手に出会うきっかけの多いイベントです。お見合いに成功したカップルは、お見合い後も仲良くサポートするボランティアのサポートが好評です。お見合い後もサポートするボランティアのサポートが好評です。お見合い後もサポートするボランティアのサポートが好評です。

申し込み方法：お問い合わせ
お問い合わせ先：古河婚活支援会(古河市)事務局
〒300-0001 茨城県古河市大宮1-1-1
TEL: 090-2041-1515
Eメール: koga@docomo.jp

※ 婚活パーティー会場は古河市大宮1-1-1
※ 婚活パーティー会場は古河市大宮1-1-1
※ 婚活パーティー会場は古河市大宮1-1-1

被災地ボランティア

石巻市にて



ド・マンナまつりにて
南三陸町産のホタテを販売。
売り上げは被災地へと届けられました。(H25~)



相馬市磯部小学校にて



南三陸町にて



いろいろな方にご指導いただいております



福岡ゼミにて 福岡政行 先生
田所嘉徳 衆議院議員と



安倍総理と



大井川和彦 知事と



石破茂 衆議院議員と



佐藤正久 参議院議員と



上月りょうすけ 参議院議員と



福田 栃木県知事と



北川正恭 早稲田大学大学院教授と